



vol.22
2024.10

HIGASHIHIROSHIMA・TAKEHARA Harmony

広島県看護協会東広島・竹原支部会員数

保健師	4人(入会率 3%)
助産師	14人(入会率28%)
看護師	1,077人(入会率42%)
准看護師	98人(入会率13%)
合計	1,193人(入会率35%)

(令和6年10月1日現在)

CONTENTS ① ご挨拶 ② 令和6年度 東広島・竹原支部 支部役員／支部総会 ③・④ 研修報告

ご挨拶 Greeting

地区理事あいさつ



担当理事

田中 明美

医療法人社団仁慈会 安田病院

仲秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。地区理事を拝命し、3期目となりました。コロナ禍で自粛していた支部事業も通例通りにすすめることができています。これも、会員皆様のご協力と、支部役員が一致団結している成果であると感じて

います。支部役員は、普段それぞれの職場で役割を持ちながら、支部事業を進めていくことは、並々ならぬ努力を要します。しかし、支部事業を通して他施設の方と交流がもてる場合は、貴重な機会です。

これからも会員の皆様からのご意見、ご協力をいただき、広島県看護協会と東広島・竹原支部のパイプ役として取り組んでまいります。

秋の気配が漂い始める季節の変わり目、皆様どうぞご自愛ください。

支部長あいさつ



支部長

井本 博子

独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

会員の皆様方には、日ごろより東広島・竹原支部の活動に御理解と御協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。昨年度に引き続き東広島・竹原支部長を務めさせていただきます。今年度、新役員

が5名加わり広島県看護協会東広島・竹原支部運営に取り組んで参ります。

看護協会の会員数も年々減少しているため、今年度は人材確保に努めていきたいと考えています。また施設間で連携し協力しあい会員の皆様の声を大切に、支部活動がより一層充実したものになればと考えています。どうぞよろしく願います。

令和6年度 東広島・竹原支部 支部役員

野田
(教育)

花岡
(総務)

川崎
(教育)

仲伏
(総務)

岩川
(総務)

竹厚
(財務)

中岡
(社会経済福祉)



光沖
(副支部長)

田中
(地区理事)

井本
(支部長)

西田
(副支部長)

令和6年度 東広島・竹原支部総会

令和6年4月20日（土）東広島商工会議所にて東広島・竹原支部総会を開催いたしました。令和5年度の活動報告・決算報告ならびに令和6年度の事業計画、収支予算についての説明があり、すべてにおいて承認されました。

5名の新役員の方々が選任され、就任いたしました。役員一同、皆様のお力となることができるよう頑張ってお努めていきたいと思っております。



令和6年度 研修報告

社会経済福祉に関する研修会「パーソンセンタードケア」

開催 令和6年9月18日(水)

講師 県立安芸津病院 認知症看護認定看護師 小早川 由佳氏

担当 中岡

令和6年9月18日(水) 県立安芸津病院 認知症看護認定看護師 小早川由佳氏をお招きし「パーソンセンタードケア」の研修会を開催いたしました。

講義の後の事例検討では、認知症対応の場面で援助者中心になりがちな思考を本人中心の思考に転換し、課題解決に導くためのツール「紐解きシート」を用いグループワークを行いました。本人の思いや立場を理解し、原因や根拠に基づいたアイデアや認知症の方の考えや思いについて意見交換しました。パーソンセンタードケアについて、認知症の人を「何もできない人」だと決めつけることなく、1人の人間として尊重し、その本人の立場に立ってケアを行う事が大切であると学びました。

アンケートでは「グループワークで他者の意見や視点など学びとなった」「仕事が忙しいと看護師の都合で対応してしまうことがあるが、患者の行動や言葉の意図を考え理解して接することが大切と思いました」と前向きな意見が多く聞かれました。

限られた時間ではありましたが、学びの多い、とても実りのある研修会となりました。



支部研修会「救急蘇生」

開催 令和6年8月23日(金)

講師 東広島医療センター 救急看護認定看護師 松尾 直樹氏

担当 野田

令和6年8月23日(金) 東広島保健医療センターにおいて、東広島医療センター救急看護認定看護師の松尾直樹氏を講師としてお迎えし救急蘇生の研修会を行いました。研修では、5つのグループに分かれてシミュレーションを中心とした研修を開催いたしました。講義だけでなく、モデル人形やAEDデモ機を使用し実践することにより、理解しやすい研修となりました。BLS講習だけでなく、転落や溺水など、医療現場などで起こりうる可能性のあるパターンを事例に挙げられ、その対応策も含めて講義を行ってくださりBLSだけでなく、「様々なパターンに対応する」もテーマに挙げ、より充実した研修を受けることができました。参加者からも「分かりやすくよかった」と声を頂きました。



進路相談会

開催 令和6年8月2日(金)

担当 花岡

令和6年度の進路相談会が8月2日(金)に医療法人社団葵会 八本松病院にて、ふれあい看護体験の貴重な時間を使わせていただき開催されました。12名の学生が参加され、DVD上映をし役員1名、学生さん4名の1グループとなり体験談・進路相談をさせていただきました。

皆さんからは『学生の時に経験しておいたほうがいいのかはありますか?』『やりがいを感じることは?』『専門学校と大学の違いは何ですか?』『就職したときにどんな技術が役に立ちますか?』など、たくさんの質問をいただき、学生の方々の進路相談のお役に立てたことを嬉しく思いました。



研究事業

「看護研究サポート講義」令和6年7月10日(水)

「看護研究過程における助言(計3回)」令和6年8月21日(水)・9月27日(金)・10月23日(水)

「看護研究発表会」令和7年1月24日(金)

講師 広島国際大学 助産学専攻科講師 杉野 真紀氏

担当 川崎

広島国際大学助産学専攻科の杉野氏を講師にお迎えし、2施設の看護研究サポートを行っています。

7月には「看護研究のすすめ方」と題し講師による講義を行いました。講義の後、2施設とも講師へ熱心に質問や相談をし、積極的な意見交換が行われていました。8月以降は、3回にわたり助言、指導の機会を計画しています。来年1月には研究発表会を予定しております。



まちの保健室

場所 フジグラン東広島2階にて

日時 毎月 第3水曜日 14:00~16:00
※3月・8月を除く

無料で
健康相談を
おこなっています
みなさま
ぜひお立ち寄り
ください



編集後記

会員の皆様のご協力により、広報誌を発行することができ安心しております。

これから、寒い時期になりますが、お体に気をつけながら、心も体も温かくなることがたくさんありますように。

[発行日] 令和6年10月発行 [発行責任者] 井本 博子

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 東広島・竹原支部 〒739-0014 東広島市西条昭和町12-49-402 TEL.082-422-8858